

徳川家綱老中連署状

一筆令啓候、

公方様益御機嫌

能被成御座候間、可被

心安候、将又、先月

十二日之御状被披見候、

其許別条無之

御番勤仕之由、得其意候、

紙面之通、及高聞候、

次其方居住之屋敷

破損修理入用之儀、

從 公儀被下天

惠之旨承届候、

猶期御音之時候

恐々謹言

板倉内膳正

十月六日 重矩（花押）

土屋但馬守

数直（花押）

久世大和守

広之（花押）

稲葉美濃守

正則（花押）

稲葉能登守殿